

今後予想される新技術について

無線式光警報装置 イメージ図

機器仕様例



【無線式】

- ・ 通信状況の確認機能を装備

【電池内蔵】

- ・ 電池消耗時は「電池切れ」を警報

【同期】

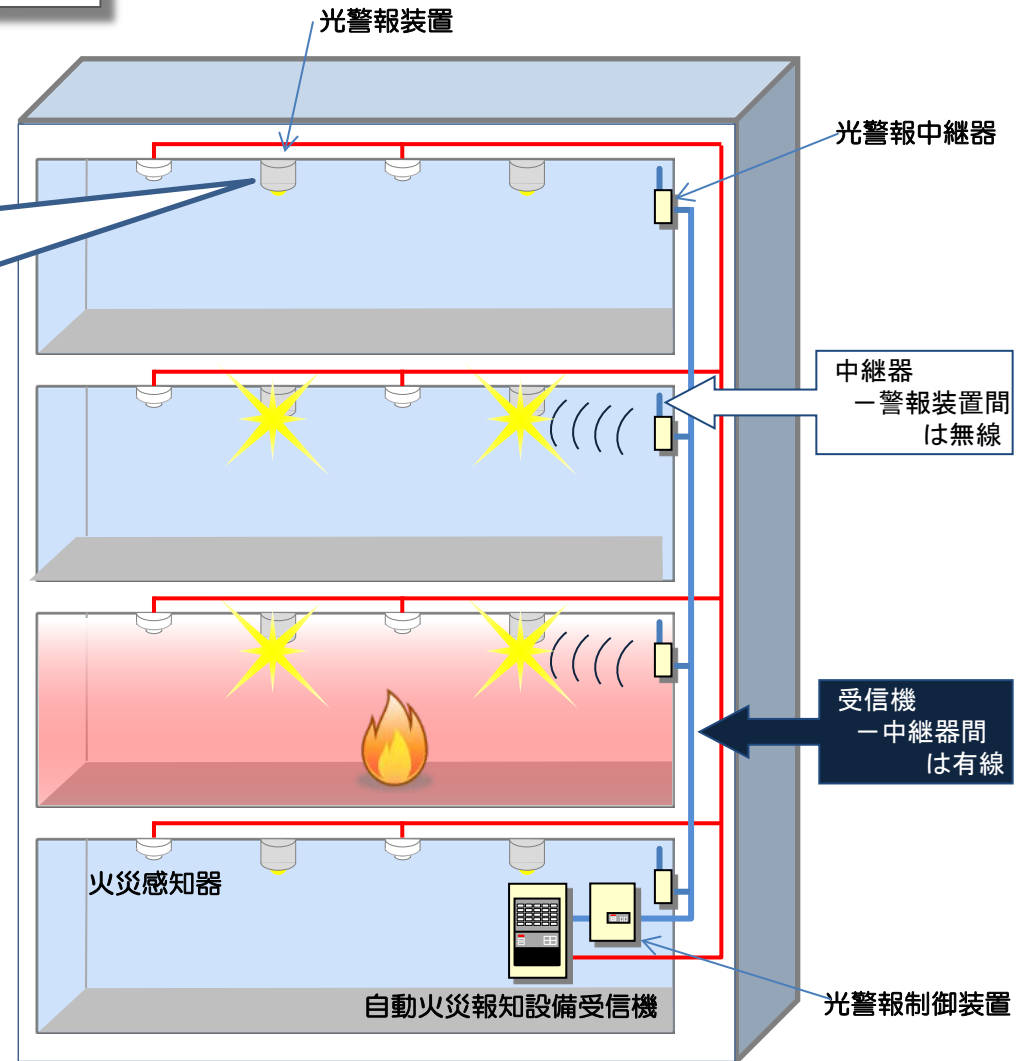
- ・ 近傍の光警報装置との同期機能

無線式の光警報装置を使用することで、
施工費用を抑え、工期を短くすることが可能

解決すべき課題

- ・ 電池、無線回路内蔵による機器の大型化、コストの増加
- ・ 電池交換等のランニングコストが増大
- ・ 無線システムの技術開発が必要
- ・ 無線での発光同期方式の技術開発が必要

機器コスト、ランニングコスト等は増加する



設置例: 既設建物に光警報装置増設